



三条 税務署長賞

『税に感謝』

新潟県立三条高等学校

一年

井上 真緒 いのうえ まお

「SDGs 未来都市（三十一自治体）」

これは二〇三十年までに達成すべき持続可能な開発目標に統合的に取組む自治体を内閣府が選出し、他の自治体のモデルとなる自治体三十一選に私が住む見附市が選ばれました。私が誇りに思う見附市では、「住んでいるだけで健康で幸せになれる健幸都市の実現」に向けて税をかけています。

たとえば、自動車依存からの脱却のために見附市内で周っているコミュニティバスはどこで降りても、大人は百円、小人は五十円です。また、この事業を行うことで、高齢の方たちが外に出やすくなり、「近所さん同士との交流が増えることで、自然災害時でのご近所さんが共助しやすくなります。

他にも、「健幸ウォーキングロード」という安全を第一に考えたウエルネスコースや休憩できる場所が示された案内地図や、景

色を眺めつつ、自分のペースでウォーキングを楽しめる「見附市ウォーキングまつり」が開催されています。

これらの取組みは簡単に成果が現れるものではないし、達成感はありません。むしろ、これらは「見附市を私は誇りに思っています。」

私はこんなにはすばらしい見附市に住み続けたいと思っています。確かに、税の使い方はその自治体の状況や環境によってそれぞれだと思います。しかし、高齢化が進む時代だからといって、医療費にたくさんのお金をかけるのは少し違うと思います。困っている人に手を差し伸べるのはあたり前。ただ、もっとこれからの社会について対策をするべきだと思います。これからさき、今よりもっと高齢化社会になっていくと考えられています。かえるなら、今がチャンスだと思います。この作文を読んで一人でも多くの人の心が動くことを願っています。また、私がこんなに自分の故郷を愛せるのは見附市に住んでいる人や国民が税を納めてくれるからだと思っています。本当にいつもありがとうございます。

